NUSOM サマープログラム参加報告

名古屋大学医学部 5 年
田中悠介

1. はじめに

本プログラムには、海外学生とともに研究室訪問、xR センター見学、かがやきクリニック訪問などを通して日本の医療への理解を深めるとともに、国際交流を通じて医療に対する視野を広げることを目的として参加しました。

2. プログラムの内容

1 日目

午前中は講義を受け、午後は研究室訪問を行いました。Buddy の Nael 君が呼吸器外科の研究室を希望していたため、一緒に手術を見学しました。摘出された肺の標本を見せていただくなど、普段では得られない貴重な経験をすることができました。

2 日目

午前は xR センターを見学し、午後は国立長寿医療研究センターを訪問しました。最先端の医療技術や高齢者医療への取り組みについて学ぶことができました。

3 日目

午前は海外学生がかがやきクリニックを訪問し、午後から名古屋大学の学生も合流しました。その後、講義を受けた後、美濃市内を観光し、長良川の鵜飼を体験しました。海外学生との交流を深めながら、日本の伝統文化にも触れることができました。また、この日はかがやきクリニックに宿泊させていただきました。

4 日目

午前は市橋先生の講義を受け、その後カムカムスワローを訪問しました。夜には参加者同士で懇親会が開かれ、より親睦を深めることができました。

5 日目

名古屋大学で講義を受けた後、Buddy とともにプログラムを通して学んだ内容について発表を行いました。夕方からはフェアウェルパーティーが開催され、参加者同士で最後の交流を楽しみました。

3. 感想

当初は、5 年次に参加を予定している海外臨床実習プログラムに向けて英語力を向上させることを主な目的として参加しました。しかし、実際には英語でのコミュニケーション能力の向上だけでなく、海外学生との交流を通して、それぞれの文化や価値観、医療に対する考え方の違いに触れ、自身の視野を大きく広げることができました。

また、日本の高齢社会に対応する医療や地域医療の充実ぶりを見学し、その質の高さを改めて実感しました。一方で、アメリカやイギリスなどの医療制度との違いについても多くの学びがあり、日本の医療を客観的な視点から捉える貴重な機会となりました。

4. 最後に

本プログラムは、地域医療について学ぶだけでなく、海外学生と密に交流し、国際的な視点から医療を考えることができる大変貴重な機会でした。今回得た経験や学びを今後の医学の勉強や臨床実習に生かしていきたいと思います。

最後に、このような貴重な機会を設けてくださった国際医学教育学の皆様、温かく受け入れてくださったかがやきクリニックの皆様、そしてプログラム期間中にご講義いただいた先生方に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



